

飲酒運転の根絶

～ 飲酒運転をしない・させない・許さない ～



ミニ広報誌

発行

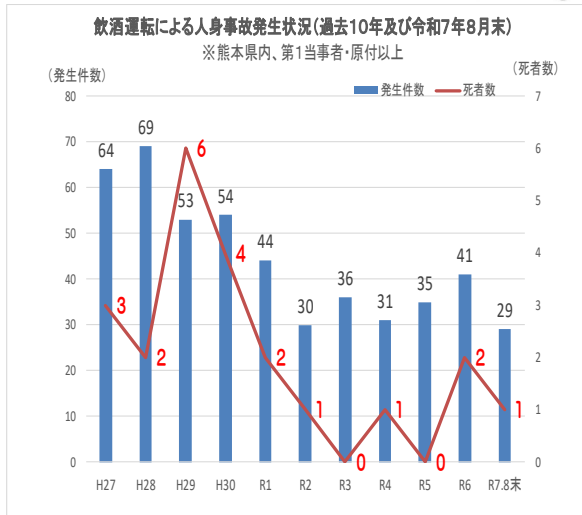
人吉警察署

1 飲酒事故発生状況

令和6年中における飲酒運転による交通事故の発生状況は、発生件数41件（前年比+6件）・死者数2人（前年比+2人）と、いずれも前年より増加しました。

また、本年は、8月末現在において、飲酒運転による死者数は1人、人身事故は29件発生しています。

これから飲酒の機会が増える年末にかけて飲酒事故の多発が懸念されるなど、予断を許さない状況にあります。



2 飲酒事故の特徴

過去5年間の飲酒事故の特徴を見ると、週末に多発する傾向にあり、発生時間帯は6～8時の時間帯が最も多く、日中も満遍なく発生しています。

3 県警からのお願い

年末を控え、熊本県警察では「飲酒運転根絶」を掲げ、自治体、関係機関・団体、酒類提供業界と一丸となり飲酒運転根絶気運を高め、取締り、交通安全教育、広報等を強化し、飲酒運転の根絶を図ることとしていますので、県民の皆様の御理解と御協力をお願いします。



人吉警察署
管内事件・事故発生状況
(令和7年
10月中)

窃盗
11件

傷害・暴行
2件

その他
6件

人身事故
1件

物損事故
109件

年末における各種犯罪を防止しよう

年末の時期は、物流や人々の流れが活発となり、金融機関や深夜営業店舗を狙った強盗等の重要凶悪事件の発生や、「電話で『お金』詐欺」やSNS型投資・ロマンス詐欺、子供・女性に対するわいせつ・声掛け事案の発生が危惧されます。

また、繁華街や飲食店街では、悪質な客引きや酔客同士の喧嘩・口論等各種トラブルの増加も懸念されます。

警察では、年末における犯罪抑止活動として、関係機関や各地域の防犯ボランティア団体の皆さんと協力しながら、パトロール等の警戒活動を強化し各種犯罪の未然防止に努めます。皆さんも防犯意識を高く持ち、各種犯罪の未然防止に努めましょう。

